

<校訓>

高志共生

大庄中通信

大庄中学校  
H24年度第9号  
(H24.7.3・火)

## 進路のお話し

6月13日(水)に、3年生の第1回進路説明会を行い、80名ほどの保護者の皆様(学年のほぼ半数)に出席いただきました。1学期の進路説明会で、こんなに来られたことは今までになかったようで、関心をお持ちの方が多のに感心しました。

### 進路は多様化・複雑化…

高校の学科や教育課程。入試方法など、中学生の進路を取り巻く状況は、年々多様化・複雑化しています。本校の進路説明会のすぐ後にも、来年から尼崎小田が特色選抜を導入、尼崎西が特色類型を変更…という新聞記事が出ていました。また、2年後には、公立高校の通学区が拡大されます。生徒の選択肢が増えた、興味・関心や個性に応じた進路選択ができるようになったと言われていますが、全国に高等学校は約4700校あり、退学者が約53000人(1.7%)だそうです。毎年、1校平均で約11人が退学していることとなります。入試を突破してせっかく入学した高校ですから、全員が卒業してほしいのですが、依然としてたくさんの人が中退しているのが現実です。私学でしたら何十万円もの入学金がパーになるのですから、親からすれば、たまりませんね。

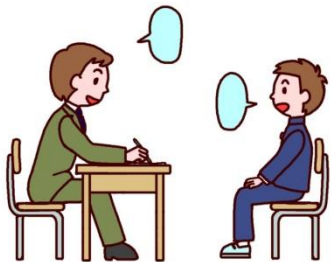
### 情報をう呑みにしないでじっくり考える

少子化の時代ですから、高校は私立も公立も生徒を確保し生き残るために、ものすごい努力をしています。加えて、宣伝もします。オープンスクールや体験入学、見学会だけでなく、リーフレットやプリントを中学生一人ひとりに配る学校も増えています。情報がたくさん得られるのはいいのですが、最近、情報過多になりすぎてかえって迷うのではないかな、と心配になります。

一つの仕事に就くのに、それまでの道筋はさまざまです。山登りと同じです。大学への道でも、附属や系列の高校から大学に入学する人、センター試験など筆記試験を突破する人、高校の成績などで推薦入学する人、スポーツばかりしていたのが大学につながってしまう人、大検に合格して入学する人、…さまざまです。

将来の職業や生き方ははっきりしている人は、ある程度それを目指した進路選択をしても大丈夫でしょうが、将来の希望があやふやな人は、一時の勢いで進路を決めないでください。一昔前までは、大学の卒業が近づき、就職活動の時になって仕事を決めた、という人がたくさんいたのではないのでしょうか。中学生の時から、無理をして専門的な道を選ぶ必要はありません。自分の将来の生き方が見つかるまで、いろいろな道が選べる環境で勉強を続けていくのがよいでしょう。

時代は変わりますし、世の中の先行きも不透明ですが、家族や学校の先生とよく相談し、自分が納得できるベストの進路選択が



できるように、これから数ヶ月間準備を進めてほしいと思います。進路先での学習や生活について行ける実力や心構えを中学校までに身につけておくのも大切なことです。

## 退学しても大丈夫

今は、通信制の学校やサポート校がたくさんあります。もしも、高校を途中でやめても、やり直しは何らかの方法で可能です。中途退学や進路変更をお勧めはしませんが、挫折や回り道の経験が人を成長させてくれることもありますから。

## 避難訓練で

6月18日(月)には、西消防署の方に来ていただいて、避難訓練(今回は火災)を行いました。

火事の放送終了から運動場に避難して人数確認までにかかった時間は、1年生が3分37秒、2年生が2分47秒、3年生が4分27秒でした。各学年の教室から運動場の集合場所までの距離(1年と2年で150mくらい、3年は約200m)を考えると、避難が完了して、正副委員長が点呼、担任を通じて学年主任が人数を把握するまでの時間が、1・2年は3分以内、3年は4分以内が今後の目標です。

## なかなか静かにならない大庄中の生徒

消防署の方が講評でおっしゃってた通り、どの学年も運動場に出てきてから、しばらく静かにならなかったことも反省事項です。なかなか話が聞ける状態になりませんでした。これは、朝礼、修学旅行、体育大会の練習、性教育講演会などのときでも同じです。気持ちを切り替えて話をしっかり聞くというのは、学年や全校が集まる時だけではなく、ふだんの授業でもできていなければいけないことです。「話を聞くべき時にしっかり話が聞けるようになる」ということが、今の大庄中生全体の課題と言えるでしょう。

## 最新の津波等一時避難所をお知らせ

6月1日に、民間施設も含めた最新の尼崎市津波等一時避難所が防災対策課から発表されました。

大庄地区でも、これまでのモーターボート競走場、コーナン、アマドゥ以外に、民間マンション等が含まれています。懇談期間中に、教育委員会発行の「命を守れ!あまっ子災害対応リーフレット」と一緒に尼崎市津波等一時避難所の一覧をお配りしますので、各ご家庭でもご確認ください。

## 性教育講演会

6月22日(金)には、末包クリニック院長の末包博昭先生をお招きして、3年生を対象に「思春期の生と性」という内容の性教育講演会を行いました。

思春期の男女の身体や心の違い、性感染症、妊娠や避妊、子宮頸がんの予防ワクチン、禁煙などについて、赤ん坊の模型やスライドなどを見ながらお話しを聞きました。

インターネットや携帯電話の普及で、誤った情報をうのみにしたり、お金儲けのためだけの情報に振り回されたりして、中学生が被害を受けることが増えているので、身体や生命だけでなく、人の心を大切にしなければいけない、ということも教えていただいた講演会でした。(文責:校長 福井 隆夫)

